

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	1874	課コード	1701	会計種別	一般会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 学童保育室施設整備事業	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	子ども部・子ども支援課						
	③事業主体	個別事業 学童保育室の整備	④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ■全市									
	⑤事業期間	平成25年度 ~		⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.41人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円	当該(開始)年度	(当初)	18,872千円	(うち人件費)	3,649千円					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33103	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無					
(2) 目的	施策目的・展開方向	待機児童ゼロを堅持するため、保育園や学童保育室など計画的に整備するとともに、多様な保育ニーズを踏まえながら、保育サービスの質の向上を図ります。また、保育園が有する専門的なノウハウをいかし、地域における子育て拠点として子育てをともに支える体制を整備します。			事業目的	学童保育室の施設を充実させるため、計画的に施設整備を図る。							
(3) 事業内容	内容	令和元年度に見直しを行った「第二次我孫子市放課後子ども総合プラン行動計画」及び個別施設計画を踏まえ、各施設の老朽化対応及び長寿命化を図ります。			当該年度執行計画	新型コロナウイルス感染症対策として、学童保育室空調設備更新工事に伴う設計業務委託及び工事施工（並木小・湖北台西小・布佐小）を行う。							
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				当該年度活動結果指標	工事施工保育室数	単位	保育室	想定値	3			
当該年度	新型コロナウイルス感染症対策として、換気しながらの保育が求められる。空調設備を更新する事により風力増大が見込まれ、該当保育室利用児童が快適に過ごすことが出来る。	指標種類	指標		単位	保育室	(5) 現況値	3					
令和4年度	増大する学童保育需要への対応、施設老朽化・長寿命化への対応、児童福祉の向上をめざした施設の整備 ・新小小学屋上、外壁等改修工事設計	直接	施設修繕箇所数又は修繕検討施設数		単位	保育室	(6) 目標値	1					
令和5年度	増大する学童保育需要への対応、施設老朽化・長寿命化への対応、児童福祉の向上をめざした施設の整備 ・二小小学屋上、外壁等改修工事設計 新小小学屋上、外壁等改修工事	直接	施設修繕箇所数又は修繕検討施設数		単位	保育室	(6) 目標値	2					
(7) 事業実施上の課題と対応	学童保育室の施設や設備について、老朽化が著しいものがあり故障した場合等、迅速な対応が難しい場合がある。また、一部の保育室では学童利用児童数増加により保育室の専有面積確保が難しい。学校自体の児童数増や特別支援教室増により、普通教室が不足しているため、学童保育室を学校敷地内で増設することが困難な状況となっている。	代替案検討	○有 ●無										
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度					
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)		
		【政策】	* 一小学童保育室空調機更新工事	2,981	大規模化及び児童数増減に伴う対応 老朽化・長寿命化への検討					* 大規模化及び児童数増減に伴う対応 老朽化・長寿命化への検討			
					* 空調設備更新に伴う設計業務委託(3か 並木小・湖北台西小・布佐小	901				* 新小小学屋上、外壁等改修工事設計	1,325	* 二小小学屋上、外壁等改修工事設計 * 新小小学屋上、外壁等改修工事	220 4,868
					* 並木小学童空調設備更新工事 * 湖北台西小学童空調設備更新工事 * 布佐小学童空調設備更新工事	7,040 3,564 3,718							
	予算(決算)額	合計	2,981	合計	15,223	合計	1,325	合計	5,088				
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	100%	15,223	補助率	30%	441	補助率	30%	1,696
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	30%	441	補助率	30%	1,696
	起債	充当率	90%	1,700	充当率	0%	0	充当率	80%	300	充当率	80%	1,300
	一般財源			1,281			0			143			396
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.58		0.41		0.58		0.58			0.58	
	正職員人件費		5,046		3,649		5,162		5,162			5,162	
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0			0	
	臨時職員賃金額		0		0		0		0			0	
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)			8,027		18,872		6,487		10,250				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			8,027千円/保育室		6,290.67千円/保育室								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
	並木小・湖北台西小・布佐小学童保育室の空調設備は、いずれも設置から20年以上経過しており新型コロナウイルス感染症対策として、設備の更新が必要である。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		
	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる ■市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		
	●①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		父母会からの要望を参考に事業を実施している。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>		仕様書等に環境配慮を明記する。				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(保育室)	目標値(b)(保育室)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		達成率		
	3	3	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(保育室)		達成率(%) (f/b×100)		○①目標値達成 ○②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)		対事業費(%) (g/c)×100		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				○要 ○不要
△135.11									
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		達成率		
	0.02	単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)		対目標値(%) (h/e)×100		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>
	保育室		10万円						○要 ○不要

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善案及び展開方向					